

2020年3月17日

各位

会社名 ベルグアース株式会社
代表者名 代表取締役社長 山口 一彦
(JASDAQ・コード:1383)
問合せ先 常務取締役経営管理部管掌 薬師寺 朝徳
(TEL 0895-20-8231)

コーポレートベンチャーキャピタル「FARM to TABLE FUND」

設立に関するお知らせ

当社は、2020年3月16日開催の取締役会において、国内外の農業を中心としたフードバリューチェーンに関連する企業に投資を行うコーポレートベンチャーキャピタル「FARM to TABLE FUND投資事業責任組合」（以下、「FARM to TABLE FUND」という。）を設立することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 設立の目的

当社は、野菜苗生産販売を中心としたアグリビジネス企業で、特に「接木苗」生産においては日本一を誇っており、最近では顧客のニーズに応える新商品の開発や、安定的な生産と供給体制構築のための直営農場の全国展開や、流通・加工・育種などへの参入による多角化、アジアを中心とした世界市場への積極的な進出によるグローバル化を推進しています。

時代の流れとともに消費者の「食の安全」への意識が高まってきており、国産の食材への信頼感は揺るぎないものになってきております。スーパーで販売する野菜にも生産者の名前を表記することが増えました。一方で、原油価格の高騰やドライバー不足による物流業界の課題、生産現場では、高齢化が著しく労働力不足が懸念され、地球温暖化による不安定な天候などの課題がある一方で、これらが販売価格に反映されにくい状況でもあります。

これらの課題を解消するためにも、フードバリューチェーンに関わるそれぞれの産業において、AIやロボティクスといった先進技術の導入が必須となりました。FARM to TABLE FUNDでは、消費者のニーズとフードバリューチェーンに関わる企業や生産者のギャップを埋めるため、フードバリューチェーンに関連する単一事業に対して投資を行い、それぞれの単一事業に横串を通し、新たな技術やサービスの導入を積極的に行い、農業を中心とした循環型の「Farm to Table」を実現する事を目的としております。

2. ファンドの概要

(1) 名称	FARM to TABLE FUND投資事業有限責任組合	
(2) 設立目的	国内外の農業を中心としたフードバリューチェーンに関連する企業、当社との事業シナジーや成長戦略に合致する可能性のある企業への投資	
(3) 設立日	2020年3月17日	
(4) 総額	上限 500百万円	
(5) 運用期間	設立日から10年（最長2年の延長期間あり）	
(6) 運用者及び出資予定額	A new Holdings 株式会社	1百万円
(7) 出資者及び出資予定額	EVOLUTION JAPAN アセットマネジメント株式会社	1百万円
	当社	498百万円
(8) 運用者の概要	名称	A new Holdings 株式会社
	所在地	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート12階
	代表者氏名	代表取締役 藤永 裕二
	事業内容	ファンド運営を主体とした新規事業開発及びコンサルティング事業
(9) 当社と当該ファンドとの関係	資本関係	当社から当該ファンドへの出資を行っております。
	人的関係	当社の役員が兼務する予定です。
	取引関係	当社が当該ファンドの出資者となっております。

3. 今後の見通し

当該ファンド設立が当社の当期連結業績に与える影響は未定であります。将来に亘って企業価値の向上に資するものと考えています。今後、当社の連結業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。